

北秋田市「道の駅たかのす」再整備後の管理運営に関する
サウンディング型市場調査
結果概要

令和 8 年 7 月 22 日
秋田県 北秋田市

1 調査の目的

市では、「道の駅たかのす」を観光客や地元住民等の来訪者にとってより魅力的な施設となるように再整備事業を行い、質の高いサービスを提供することで、北秋田市に相応しい持続可能で個性豊かな道の駅としていく方針です。また、「大太鼓の館」についても、施設・設備を大幅に改修し、道の駅との連携・相乗効果を高めることで、両施設が一体となった観光・交流拠点としてリニューアル・オープンする予定です（道の駅、大太鼓の館ともに令和 10 年開業予定）。

本調査は、民間事業者等の皆様との「対話」を通じて、再整備後の道の駅の運営方式等について提案をいただくとともに、管理運営の市場性や事業者としての参画可能性等について把握することを目的に実施しました。

2 公募サウンディングの実施スケジュール

公募サウンディング実施要領の公表	令和 8 年 3 月 12 日（木）
対話の実施	令和 8 年 4 月 22 日（水）

3 対話の内容

① 同種・類似施設の運営管理の実績

（実績の中で誘客・集客のための工夫（特産品開発など）点）

- ② 指定管理施設（道の駅及び大太鼓の館）における業務範囲
- ③ 参入しやすい指定管理期間及び開業までの期間の考え方について
- ④ 業務内容別の指定管理料の考え方について
- ⑤ 想定される主要なリスクと考えられる対応策について
- ⑥ 運営管理者の公募をする際に市に望むことについて（条件や課題）
- ⑦ 市内農商工業者との連携方策（運営委託、テナント契約、商品納入）の可能性について
- ⑧ 他の道の駅との差別化、独自性や特色ある道の駅とするためのアイデアについて
- ⑨ その他道の駅再整備事業についての意見、要望等について
- ⑩ 道の駅又は大太鼓の館の管理運営等への参画意向について

4 結果の概要

(1) 参加事業者数

2 グループ

(2) 各設問における回答の要約

① 同種・類似施設の運営管理の実績

本調査に参加した2グループともに、道の駅の運営実績を持った事業者でした。

② 指定管理施設（道の駅及び大太鼓の館）における業務範囲

2グループともに、指定管理施設の業務範囲については、事業概要書に記載の全ての業務について問題なく実施できるという回答を得られました。

意見の要約は以下のとおりです。

- ・大太鼓の館の管理も含めて、一括で指定管理の業務範囲として実施可能である。
- ・特殊な資格要件もなさそうなので、運営的にできないことはない考える。

③ 参入しやすい指定管理期間及び開業までの期間の考え方について

2グループともに、5年以上と回答いただきました。

意見の要約は以下のとおりです。

- ・一般的には5年程度と考える。3年とする事例もあるが、短いと考える。
- ・3年の可能性もあるが、設備投資が事業者負担となる場合3年間では償却が出来ず、投資回収ができない。5～10年は見ていただきたい。

④ 業務内容別の指定管理料の考え方について

指定管理料の考え方に対する意見の要約は以下のとおりです。

- ・物産販売施設、レストラン、テナントなどは利用料金制、大太鼓の館や子育て応援施設、公園はサービス購入型として指定管理料が支払われると認識している。
- ・子育て応援施設やツーリストセンターは収益を得ることが出来ない施設のため、指定管理料を支払ってほしい。

⑤ 想定される主要なリスクと考えられる対応策について

想定される主要なリスクとして、以下の様な意見がありました。

- ・子育て応援施設について、レストラン併設だと食事した後にすぐに子育て応援施設で遊び、体を動かして嘔吐してしまうのではないかと考える。感染症が広がる可能性があり、運営時のリスクになると考える。
- ・子育て応援施設内の遊具からの転落や遊び道具の清掃・故障時の対応など。責任分担を明確にしてほしい。
- ・子育て応援施設への不審者の侵入などもリスクとして考える。
- ・駐車場について、計画の規模で不足しないか懸念する。
- ・一般的には、万引きや食中毒などのリスクが考えられる。
- ・本施設においては、大太鼓の館における展示物の破損・盗難など。インバウンド需要も増える中では可能性が高まると考えている。保険を掛けるなど配慮が必要である。

⑥ 運営管理者の公募をする際に市に望むことについて（条件や課題）

運営管理者の公募をする際に市に望むことについて、以下のような意見がありました。

- ・現状の情報（来客数、部門別の売上の状況など）の開示をしてほしい。公開情報が不足すると、公募時に事業者から質問が多く出ると考える。
- ・ある程度自由に提案が可能な審査項目、様式を作成してほしい。
- ・参加要件に「現在、道の駅を運営していること」という項目を含めないでほしい。

⑦ 市内農商工業者との連携方策（運営委託、テナント契約、商品納入）の可能性について

市内農商工業者との連携方策の可能性について、以下のような意見がありました。

- ・納入者、テナントなど地元事業者と連携して運営をする。自社の直営で実施する場合もあるが、地元企業と連携することの方が優先順位は高い。
- ・JAに参入いただくことも含めて検討したい。個人農家で年間を通して同一品目を栽培している農家はほとんどいないと想定する。ニーズのある作物を常時提供できるような体制構築を考えていく必要がある。
- ・原材料の仕入れは地元事業者から行い、商品の販売・開発は直営で行うことで、質を担保したいと考えている。テナント施設の店舗数が少なければ、1店舗休みとなるだけで、物販等の他の機能への影響が出てしまうと懸念する。

⑧ 他の道の駅との差別化、独自性や特色ある道の駅とするためのアイデアについて

他の道の駅との差別化、独自性や特色ある道の駅とするためのアイデアとして、以下のような意見がありました。

- ・道の駅の特色を出すことは重要。他施設では自社でカフェの運営などを取入れている。モンベルの併設や規模の大きな子育て応援施設などのハード上の強みを活かして差別化を図れるとよい。
- ・オリジナル商品の開発などにより、独自性を出すことができる。
- ・地元産品の加工などに力を入れて、付加価値を付ける必要があると考えている。レストランのメニューについても一般的なカレーやうどんなどではなく、この道の駅ならではのメニューの提供をすることで個性を出したい。

⑨ その他道の駅再整備事業についての意見、要望等について

その他道の駅再整備事業について、以下のような意見、要望がありました。

- ・今後も民間事業者との対話の機会を設けたほうがよい。
- ・指定管理者に選ばれる前段階から準備をさせてほしい。公募で選定され指定管理候補者となったところから、市と実務上の対話や地元事業者や農家との調整など行いたい。

⑩ 道の駅又は大太鼓の館の管理運営等への参画意向について

本調査に参加した2グループ全てから、参画について前向きに検討したいと回答を得られました。

5 今後の予定

本調査の結果を参考に、管理運営業務の内容や範囲等について検討してまいります。